

成果区分「研究」の成果名と成果概要一覧

成果名	主担当 研究室	成果概要
落花生「ナカユタカ」の省力的な収穫適期判定方法	作物	落花生における収穫適期判定のための試し掘りの際、1～3番莢（株内で1～3番目に咲いた花より生じる莢）を調査することによって、収穫適期を簡易に判定できる。
イネカメムシの効率的なすくい取り調査の時間帯	病虫	夏の晴天時にイネカメムシのすくい取り調査を行う場合、気温が低い朝6～8時が夕方よりも多く捕獲される。また、気温の上昇に伴い10時以降になると株元に移動するため、捕獲数が低下する。
収量コンバイン等の収量データを基にした施肥改善の考え方	環土	全量基肥肥料の施肥窒素利用率は51.5%で、増肥により成熟期窒素吸収量は概ね利用率どおりに増加する。精玄米重から成熟期窒素吸収量を推定し、不足する窒素量を利用率で除して増肥することで、目標収量を達成できる。
水稻生産における収量コンバインのデータを基にした可変施肥の収量向上効果	作物	収量データに基づいた可変施肥を行うことで、圃場内の低収部分の収量が向上し、圃場収量が向上する。
ドローンによるかんしょ「べにはるか」のデンプン含量推定技術	環土	挿苗から50～60日のNDVI画像からかんしょ「べにはるか」の収穫時のデンプン収量を推定できる。収穫時の株当たりの着芋数を考慮した生育指標値より収穫時の生芋デンプン含量を推定できる。

作物：作物研究室、環土：環境・土壌研究室、病虫：病虫研究室